

様式 D-2-3 [記入例]

平成〇〇年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）交付申請書

独立行政法人

平成29年〇〇月〇〇日

日本学術振興会理事長 殿

所属研究機関の本部の所在地及び名称	〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都〇〇区〇〇2-5-1		
	名称 〇〇大学		
所属研究機関の長の職名・氏名	職名 学長	氏名 〇〇〇〇	
研究代表者の部局名（番号）・職名（職番号）・研究者番号	部局番号： 5××	職番号： 20	研究者番号：
	部局名 〇〇研究科	職名 教授	10234567
フリガナ	〇〇〇〇		
研究代表者の氏名	〇〇〇〇		印

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（国際共同研究加速基金（帰国発展研究））について、日本を主たる研究拠点として研究を遂行するため、次のとおり交付を申請します。なお、交付された助成金は、交付条件に従い適正に使用します。

研究課題名	〇〇の××に関する総合的研究		
-------	----------------	--	--

補助事業期間	平成29年度～平成31年度	日本の研究機関における職務のエフォート	100%
--------	---------------	---------------------	------

助成金額 (交付予定額)	直接経費合計①		間接経費合計②			直接経費と間接経費の合計 (①+②)	
	40,000,000 円		12,000,000 円			52,000,000 円	
	年度別・費目別内訳	直接経費 (円)					間接経費 (円)
		物品費	旅費	人件費・謝金	その他	計	
	平成29年度	9,000,000	1,000,000	4,000,000	1,000,000	15,000,000	4,500,000
	平成30年度	7,000,000	1,000,000	6,000,000	1,000,000	15,000,000	4,500,000
	平成31年度	6,000,000	1,000,000	3,000,000	0	10,000,000	3,000,000
合計	22,000,000	3,000,000	13,000,000	2,000,000	40,000,000	12,000,000	

主要な物品の内訳（1品又は1組若しくは1式の価格が50万円以上のもの）

品名	仕様 (製造会社名・型)	数量	単価 (円)	金額 (円)	納入予定時期
ワークステーション	LVB 2007-TK/RN	1	800,000	800,000	平成29年12月
〇〇〇装置 (共用)	XXX 2016-XX-XX	1	1,000,000	1,000,000 (500,000)	平成30年1月
					平成 年 月
					平成 年 月
					平成 年 月
					平成 年 月
					平成 年 月
					平成 年 月

主たる拠点となる日本の研究機関における職務の年間のエフォートを記入すること。  
 交付申請にあたっては、日本を主たる拠点とすること（例えば、クロスアポイントメント等の場合は、本欄のエフォートが50%以上等）が必要であるので注意すること。  
 ※本課題のエフォートについては、支払請求書の別紙に記入すること。

キーワード	①環境政策	②環境分析	③	④	⑤
機関番号	12345	研究種目	国際共同研究加速基金（帰国発展研究）		課題番号 16K34567
経費管理担当者・部局・職・氏名	部局・職 〇〇課 〇〇係長		氏名 〇〇〇〇		

(注)・印刷に当たっては、A4判（縦長）・両面印刷すること。





補助事業者	研究者番号	機関番号	部局番号	職番号	補助事業期間全体を通じた役割分担等 補助事業期間全体を通じた研究実施計画に対する 分担事項等を具体的に記入すること。	補助事業期間全体を通じた直接経費 (研究者別内訳) (円)
	氏名	所属研究機関・部局・職				
研究代表者	1 0 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	5 × ×	2 0	研究の総括と〇〇のモデル化  「実験」「分析」等のような単語のみの記入はしないこと。	20,000,000
	〇 〇 〇 〇	〇〇大学・〇〇研究科・教授				
追加	1 0 4 5 6 7 8 9	1 2 3 4 5	5 × ×	2 0	▲▲資料の構成と分析 [分担者を追加する理由] ▲▲資料の構成と分析について当初計画よりもより多角的な検証が必要と判断したことから、当該分野の第一人者である▲▲氏を分担者として追加することとした。本人承諾済。	10,000,000
	▲ ▲ ▲ ▲	〇〇大学・〇〇研究科・教授				
追加	1 0 3 4 5 6 7 8	1 2 3 4 5	5 × ×	2 7	●●に関するシミュレーション [分担者を追加する理由] 研究計画上予定していなかった●●に関するシミュレーションが、研究環境の変化により研究遂行上必要となったため。本人承諾済。	10,000,000
	□ □ □ □	〇〇大学・〇〇研究科・准教授				
補助事業者合計(小計)		3 名			直接経費合計(小計)	40,000,000

(注)・印刷に当たっては、A4判(縦長)・両面印刷すること。